



北潟っ子通信

H29. 7. 3

NO. 8



北潟っ子3つの誓い

- 一つ、私たちは、わがまちに誇りを持ち、まちのためによりことをします。
- 一つ、私たちは、家族のことを思い、家族のために役立つことをします。
- 一つ、私たちは、自分がよいと思うことをねばり強くがんばります。



藤井4段、今注目の将棋公式戦29連勝を成し遂げた14歳棋士。小さいころは、負けると大泣きしていたとか。すごい人が現れたものです。強くなった要因は様々あると思いますが、大きな要因の一つに、小さいころから将棋を楽しんで打っていたことが挙げられると思います。論語に「**之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず**」という言葉があります。

「道を志すことにおいて、ただ知っているというだけの人は、それを好きな人には及ばない。それを好きな人も、それを楽しむ人には及ばない」という意味です。スポーツ選手も「楽しみながら」という言葉をよく口にします。北潟小学校の子どもたちは楽しんで学習やスポーツやその他の活動に取り組んでいるのだろうか、やらされているのではなく自ら活動しているのだろうかといつも考えます。「本質を楽しむ」、これからもこれを念頭に置いて、教育に当たっていきます。

夏休みに向けて.....いよいよ7月、夏休み前のまとめの時期です。夏休みが有意義に過ごせるように、残された日々を充実したものにしていきたいです。11日には、教育懇談会が予定されています。学習や生活についてお話をさせていただきます。よろしくお願いいたします

みんなの願いが届きますように！
サッカー選手になりたくて
まほうつかいになりたい
家族が元気でいられますように



今年の新しい試みです 特別支援学校との学校間交流

出前授業(4年 6/28) 嶺北特別支援学校との交流会に向けての出前授業がありました。この日は、嶺北特別支援学校の大崎先生から、「この学校はどんなところ、どんな子が学習しているの、みんなへのお願い」などについてのお話を聞き、理解を深めました。子どもたちからは、「登校の仕方・給食について・先生は何人?・教室について・宿題やテストについて」など多くの質問が出されました。また、「違っているところもあるけれど、ぼくたちといっしょだ。」という感想が聞かれ、「早く行って、交流したいな。」と楽しみな様子が見られました。第1回の交流は、7月18日に行う予定です。

歯みがき集会（6/29） 歯の〇×クイズの後、昨年度の歯みがき名人がいつも心がけている工夫について話してくれました。最後は、ぴかぴかチャンピオン（虫歯なし・歯ぐき健康・歯みがき合格者）21名と、ぴかチャンピオン（虫歯の処置完了・歯ぐき健康・歯みがき合格者）16名の表彰がありました。健康な歯を維持するため、上手な歯みがきの習慣をつけましょう。

歯みがき名人の工夫（一部抜粋）

- ・特に夜の歯みがきをていねいに行っています。（6年 ）
- ・一日必ず3回、歯みがき粉をつけてしっかり歯みがきをしています。（6年 ）
- ・みがいた後、舌で歯の裏側などを確かめます。ざらざら感があるときは、もう一度しっかりみがきます。（6年 ）
- ・一日3回、鉛筆の持ち方で軽く歯みがきをすることと、定期健診で歯を守っています。（6年新井）
- ・一日3回、歯みがき粉をつけてしっかり磨きます。（6年 ）



給食委員会からのクイズ

〇×クイズの中から ・子どもの歯は、28本である。

- ・ものをかみくだく役割の歯は、犬歯である。
- ・歯ブラシは、毛先が広がったやわらかいものがよい。
- ・寝る前に、ポカリスエットやアクエリアスのイオン飲料を飲んだら、歯みがきをしないでよい。
- ・口の中のばい菌は、体の中で一番多い。

※歯みがき方法 何もつけないでしっかりみがいた後、歯みがき粉をつけてみがき、軽くうがいをするのがいいのだそうです。

避難訓練（7月3日）



全壊した校舎（福井震災当時
90周年誌より）

7月13日（木）北潟湖クリーン作戦

カヌー部隊と徒歩部隊でゴミ拾いをします。今年は、地域と進める体験活動の一環として行う予定です。ご家庭・地域の皆様、もし、お時間がありましたら、子どもたちと一緒に地上部隊での活動にご協力いただくとありがたいです。（北潟公民館集合 10時40分～11時30分）

今年も、地震（Jアラート使用）とその後の火事を想定しての避難訓練をしました。今回は、休み時間での訓練でした。自分がどう行動するのがいいのかを考える大切な訓練になりました。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。ご家庭でも、日頃より、災害や避難方法について話し合っておいてください。地震を実際に経験した方々のお話を聞くのもいいですね。

学校に保管されている福井震災当時の資料を見ると、北潟中学校校舎増築の祝賀式を終えて1か月後、校舎が一瞬にして全・半壊したことが記されています。「昭和23年6月28日、午後5時14分ごろ、福井県北部から石川県堺南西部にかけての、あの未曾有の大震災のため、学校は全壊した。生徒児童の家屋は、もちろんのことである。このため、たちまち学び舎を失ったのであるが、ただ地震は放課後であったため、職員、生徒の犠牲者が少なかったのは不幸中の幸であった。しかし、教育の仕事は一日もゆるがせにできないので翌日県庁まで農協の車をとぼし、米進駐軍のテントを借り受けて翌々日からテント内での学習を続けたのである。」（北潟小学校 創立90周年誌より抜粋）

※教育総合博物館で、特集展示「福井震災と学校」が開かれています。中に、北潟小学校提供の資料もあります。